

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容健康 Content of childcare (Health)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修 教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育内容総論、子どもの保健Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火曜・水曜・金曜(授業時間外)		授業中に指示します
授業の概要				
乳幼児期は、心身の発達の最も著しい時期であり、生涯にわたって必要な生活行動の基礎を学習し、社会に適応していく能力を身に付ける上での大事な時期である。そこで、子ども自身が「健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ために必要な、保育者としての知識と援助・実践方法を学ぶ。				
授業の目標				
①保育所保育指針、幼稚園教育要領における「保育内容健康」に関する実践的な保育活動を考えることができるようにする。 ②子どもが、心身ともに健康で安全な生活を営み、健全に発育・発達するために必要な保育活動の知識と技術を習得できるようにする。 ③基本的な生活習慣の重要性を捉えることで保育者としての関わりを考案し、援助する力に繋げていくことができるようにする。				
授業の方法				
教科書の項目・内容に対しての具体化した解説を取り入れながら、「保育内容健康」としての学びと向き合う演習活動に取り組む。その中で、実際の保育において起こり得る状況を踏まえた視点と援助について考察し、現地調査なども取り入れた資料を各自で作成する。				
幼児の「健康」に関する分野に着目した映像を観たり、子を育てる母親の手記を開いたりする。				
学習の成果(学習成果)				
①保育所保育指針、幼稚園教育要領における「保育内容健康」のねらいと内容を踏まえた、明るく伸び伸びと行動する保育活動を考えることができる。 ②子ども自身が安全への留意をしながら身体を十分に動かす活動に臨むことが出来るように、個々に合わせた働きかけをすることができる。 ③「子どもの姿を認める」ことの大切さを基に、子どもと関わる場面においての基本的な生活習慣への援助や工夫を具現化する方法を見出すことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス～シラバスの説明(授業のねらいと進め方、成績評価の方法、授業の出欠席と遅刻早退後の取り扱い、補講など) 領域「健康」の目指すものについての講義			
第2回目	第3章 『子どもの心身の健康』～心の安定について～ 講義とプリントによる演習			
第3回目	第9章 『保健への配慮と指導・援助』～子どもたちの健康状態の把握～ 講義とプリントによる演習			
第4回目	第10章 『安全の管理と指導・援助』～安全管理の意義と目的～ 講義とプリントによる演習			
第5回目	第11章 『園外保育と健康』～安全の指導と援助について、校内巡りを通して安全指導を学ぶ～ プリントによる演習			
第6回目	映像教材「保育者を目指すあなたへー保育中のかかわり」(30分) 保育の場の応急処置について考える			

第7回目	「ヒヤリハットマップ」に関する講義と作成方法について 公園の「ヒヤリハットマップ」を作成し提出する(提出日は授業内にて指示する)		
第8回目	第1章 『領域「健康」の意味』～「健康の定義」を理解する～ 講義とプリントによる演習		
第9回目	第6章 『遊びと健康』～室内遊びと戸外遊びについて～ 講義と演習活動		
第10回目	第7章 『健康にかかわる遊びと保育者の援助』～固定遊具、鬼ごっこ、ボール遊び、かけっこの遊びの特質について～ 部分指導案の作成－課題として提出する(提出日は授業内にて指示する)		
第11回目	映像教材「健康な乳幼児の発達 第1巻 誕生から10ヶ月頃」(30分)～乳児のかかりやすい病気とその対策		
第12回目	映像教材「健康な乳幼児の発達 第2巻 12ヶ月から18ヶ月頃」(30分)～「健康の定義」「健康観察」「遊び」に関する小テスト		
第13回目	第8章 『基本的生活習慣の指導・援助』～基本的生活習慣とは、基本的生活習慣を身に付ける意義～ 講義とプリントによる演習		
第14回目	授業内容に関する筆記試験～授業内容の確認と解説		
第15回目	領域「健康」の目指すものの確認 子を育てるある母親の手記を聞き、健康観察の重要性について考える		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	教科書持参で授業に臨むこと。授業に不必要な私語や居眠りが明らかな状況であった場合は、個別指導をする。
	レポート	10%	遊びに関わる際の部分指導案の作成と提出。遊びに対するねらいと援助が適切で、子どもの安全を考慮した内容となっていることで評価する。
	調査報告書	10%	各自が公園の視察に出向き「ヒヤリハットマップ」を作成して提出。作成に関しては、保育活動の指導に活用できる地図である、危険な箇所が明確である、表現が適切である、提出期限を守ることで評価する。
	小テスト		
	試験	70%	授業内容に関する学びと援助の方法に関する筆記試験を行う。用語や表現の仕方が適切な漢字を用いていること、明確な論述であること、援助に対する理解が読み取れる記述であること。
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書：シードブック 保育内容「健康」 建帛社			
履修上の留意点・ルール			
私語、居眠り(睡眠状態)の禁止。机上に授業において必要のないものは置かない。 授業が始まってからの遅刻・授業途中の早退は、併せて3回で欠席1回として扱う。			